



PTA いしかわ

No.
165

平成27年2月20日

発行：石川県PTA連合会 金沢市尾山町10-5 石川県文教会館
http://w2223.nsk.ne.jp/ishi-pta/

主題

原点に立ち返り、子どもたちと共に、人として
何が大事なのかを学び、身につけよう！



INDEX

- ・石川県PTA大会 ——— 1面
- ・記念講演 ——— 1~2面
- ・講演をお聞きして ——— 2面
- ・専門委員会の活動から ——— 2面
- ・研究指定から学ぶ ——— 3面
- ・課題別研究指定 ——— 3面
- ・表彰 ——— 4面
- ・いきいき子育て ——— 4面
- ・東陸小松大会に向けて ——— 4面

第八十一回 石川県PTA大会開かれる

平成26年11月29日(土) 午後1時30分
地場産業振興センター大ホール

オープニングには3名の中学生による「少年の主張」の発表があり、爽やかな感動に包まれながら大会が始まりました。

開会の挨拶に立った北川会長は、本会の主題に触れ次のように述べました。

『…原点という言葉には、PTA活動そのものが表されている。親自身が学びながら、心豊く育てながら活動していく。これがPTA活動の原点ではないだろうか。』



そして、『他人のことを思いやる、挨拶がしっかりできる、そして優しい気持ちを持つていく。家庭教育育の中でそういうことを大切にしながら子どもを育てていかなければならない。』

締めくくりに、平成27年度に石川県で開催される東海北陸ブロック研究大会のアピールも行い、多くの方々の参加を呼びかけました。

続いて来賓を代表し、木下公司石川県教育長がご挨拶をされました。

県では、「学校、家庭、地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上をめざす」ことを目標に掲げ、「家庭の教育力の向上」をバックアップする施策を講じています。そのことに触れ、

『…とりわけ、今年度は家庭教育支援といたしまして、小学校入学前に生活リズムや子どもとの関わり方について、今一度保護者の皆さんに学んでいただきたいと考え、「肝心かなめの1年生塾」の開催をすべての小学校、特別支援学校にお願いしました。また、この1年生塾の開催のため、専門家監修による親子の冊子も作成させていただきました。小学校1、2年生の保護者の皆様にも配付したところでありました。』と、具体的な施策を紹介されました。続けて、各PTAにおける研修会を通して家庭教育の学びの機会を設けるとともに、『学校と家庭、さらには地域を結ぶ架け橋として、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるような環境作り』を強調されました。



大会では、優良PTA31団体、功労者33名の表彰式もありました。また三行詩コンクールで優秀賞を受賞された14名の方々も表彰されました。(お名前前は4面をご覧ください)



石川県PTA大会記念講演
子どもの才能の見つけ方、伸ばし方

辻井 いつ子氏 (ピアニスト辻井伸行氏のお母様)

辻井伸行氏は、「全盲のピアニスト」として、世界を舞台にご活躍中です。そこに至るまでには、多くの不安や葛藤があったであろうに、辻井さんは明るく、笑顔でお話されました。

▼全盲で生まれたわが子

生まれてきた子が全盲だと分かったとき、悪い夢でも見ていたのではと思いました。この子は幸せな人生を生きることができないのではというネガティブな考えの私を救ってくれたのは、福沢美和さんという視覚障害者の方でした。

福沢さんは「あまり難しく考えないで、健常児と同じように普通に育てたらいい」と話してくれました。その言葉を聞いて、お花見にも連れて行き、花びらに触れさせました。美術館にも連れて行き、絵の前に立たせて私が見たことを説明しました。

▼音楽へのめぐみ

音楽の才能があることは全く気づきませんでした。生後8ヶ月のとき、CDをかけるとうちも喜びました。ショパンの「英雄ポロネーズ」が大好きで、全体で喜びを表現しました。CDが傷ついたので、新しいのを買ってきて聞かせました。ここ

ろが同じ曲なのに、ちっとも喜ばれません。主人は「もう飽きたのではないのか」と言ったのですが、私はもしやと思い、違うCDを捜し求めて買ってきました。それは最初のピアニストと同じブーニンが演奏しているものでした。それを聞くと、はじめと同じようにとても喜びました。

▼ピアノとの出会い

そんなこともあり、おもちゃのピアノを買ってきて与えました。とても喜んでそれで遊んでいました。2歳になった12月のことです。ジングルベルを口ずさみながら台所で仕事をしていると、隣からジングルベルみたいな音が聞こえてきました。なんだろうと思いついてドアを開けてみると、教えてもないのに彼がおもちゃのピアノでジングルベルを弾いていたのです。私が歌っていた音を拾いながら演奏していたのでしよう。



有害情報から
子どもたちを守るために

- ☑ ケータイのリスクを教え、正しい判断ができるまで持たせない
- ☑ どうしても持たせる必要がある場合でも、必ずフィルタリングをつける
- ☑ パソコンやゲーム機は、使用のルールを決め、きちんと守らせる

感性を表現する絵画。
未来を創る子供たちに、
国産の安全で高品質の
水彩絵の具を…。



メイプルカラーは、
●アレルギー体質のお子さんでも安心。
●混色しても色鮮やかな透明水彩。

ヤマガミ共育社
〒921-8001 石川県金沢市高島 3-174
TEL.076-291-1250

ほけんの窓口

無料相談実施中！

小野々市店 0120-28-5166
 金沢入江店 0120-78-5066
 金沢店 0120-28-5066




ティ・アイ・エス株式会社
 石川県金沢市北安江 2-24-8
 TEL:076-265-5066 http://tislook.com/

りました。

ピアノの音を聞き分ける耳と、音を拾って演奏する力を持つてゐることに気づいたので、使っていないアップライトのピアノを彼に与えました。どうせなら本物と出合わせたいと考えたのです。

わたしはピアノが得意なもので、先生も頼みました。本格的にピアノをやらせるつもりはなかったのですが、「ちょっと弾ければいいので、楽しく遊びのつもりでやってほしい」とお願いしました。小さな曲を練習し、少しずつ弾けるようになっていきました。

人前ではじめての演奏

5歳のときサイパンに旅行に行きました。ショッピングセンターに行くとき、自動演奏のピアノが鳴っていました。それを聞いていたうちに、だんだん自分でも演奏したくなったので、1曲でいいから演奏させてもらえないかと言いました。お店の人をお願いしてみると、いいですよと、自動演奏を止め、弾かせてくれたのです。その時弾いたのは「渚のアデリーヌ」という曲でした。

5歳の小さな男の子が演奏する曲ではなかったけれど、珍しそうにお客さんがいっぱい集まってきました。演奏が終わると、すごい勢いで駆け寄ってきて息子を抱き上げ、「あなたは素晴らしい」と伝えてくれたのです。

自分の演奏でこんなにも人が喜んでくれるのだと知ってとてもうれしかったみたいです。わたしももしかしたらピアノが彼を光の当たる場所へ連れて行ってくれるのではないかと感じました。私たち家族にとってそれは忘れられない出来事でした。

はじめてのコンクール

東京に引越してから、新しいピアノの先生と出会いました。週2回、情熱と愛情を持って教えてくださいました。

はじめにコンクールに出場したのは、筑波大学付属盲学校の1年生のときです。先生にすすめられて、全日本盲学生音楽コンクールに出ました。小学生も高校生もハンディなしで競うコンクールでした。演奏を聞いていたうちに、これはとても勝ち目がないなと思いましたが、それほど目がないとは思っていませんでした。それほど目がないのに、レベルが高かったのです。

成績発表になりました。第3位は中学生、第2位は高校生でした。「やっぱり大きい方が賞を取るね」と話していたら、「第1位、辻井伸行さん」と呼ばれました。一番びっくりしたのは本人です。

まさかの優勝だったので夢が膨らみ、「世界のコンクールに出たいね」などと盛り上がりました。

でも主人は「ピアノはよく選ばれた人がなれるものだ」と言っていて、浮かれる2人をいさめるのでした。

よれ師との出会い

世界的な指揮者、佐渡裕さんとの出会いがなければ、今日の辻井伸行はなかったと思います。出会いについてお話しします。

雑誌のライターをしている友人が、佐渡さんのインタビュー記事を書くことになりました。その話を聞いた私は、息子の演奏テープを佐渡さんに渡してほしいと、友人に頼み込みました。

聴いてくださるかどうかは分か



りませんでした。でも忙しい佐渡さんが、そのテープを聴いてくださったのです。そればかりでなく、「生の演奏を聴きたい」とおっしゃってくれました。

コンサート会場に佐渡さんを訪ね、目の前で演奏しました。佐渡さんは涙を流しながら、最後まで聞いてくださいました。終わったときに息子をぎゅつと抱きしめて、「いい演奏だったよ。いつか一緒にやろうね」と言葉をかけてくださいました。

この後佐渡さんとのパリの演奏会、そして辻井伸行氏を世界的なピアニストに押し上げるようになったヴァンクライバーンコンクールへと話が進みます。また子どもの頃、水泳山登り、そしてスキーまで体験したというエピソードも、聴衆を驚かせるものでした。

辻井さんは一貫して、「ボジティブに」「子どもを認め」「褒めて育てる」という考えで子育てをしています。それは才能を見つけて、伸ばすことのひとつの答えのように感じました。

講演をお聞きして

辻井いつ子さんは、目に障害のあるわが子の育児に悩んでいるとき、一冊の本と出会いました。「フロックスはわたしの目」という本です。著者の福沢美和さんは、目に障害があっても、何事も楽しみながらチャレンジしています。

辻井さんも子どもの世界をもっと豊かにし、皆さんにかわいがってもらえるよう心がけました。

講演をお聞きし、どんなときも明るい世界があることを知り、希望と元気をいただきました。

うかは分か

専門委員会の活動から『一年を振り返って』

総務委員会

委員長 田中 敬人

県P連の役員数の多くは単年度で交代しているのが実情です。組織の強化と東陸小松大会の成功に向け、任期を複数年に延ばすことを模索してきました。前向きにとらえ、選出方法を見直す市町も出てきました。

会員数の減少に伴い、財政状況が厳しくなっています。そこで今年度から広報紙に広告を掲載することにしました。事業主の協力とうまく軌道に乗せることができました。

安全会はPTA活動時だけがや損害を補償するなど大切なシステムです。一層の活用を促すため、広報活動を見直すことにも取り組みました。

教育問題委員会

委員長 水上 猛之

教育問題委員会では、校長会の先生方や県教委の方々と懇談会を開きました。いじめや不登校の問題、ネットトラブルの問題などをめぐり、最新の状況をお聞きするとともに、役員会の体験談等に基づいた意見も出し合いながら、相互の情報交換を行いました。全く知らなかったお話も多々あり、県P連の活動へとフィードバックしていきたいと思

います。

地域活動委員会

委員長 吉田 雅明

ケータイやスマホの問題について、地区別研究指定発表会で「ケータイキヤラバン隊」として、携帯ゲームやスマホの危険性を啓発するための講話を行いました。

また、啓発リーフレットの内容を見直し、「家庭のルール作り」の項目を追加しました。

さらに、「サイバー犯罪対策室視察研修事業」として県警本部視察を行いました。サイバー犯罪の現状や問題点について講義を聴き、意見交換を行いました。とても有意義な活動を行えたと思います。今後ともケータイ、スマホに関する問題、犯罪対策において充実した研修等を行えればと思います。



特別活動委員会

委員長 南出 憲泰

いじめは私たちが子どもの時もあったと思います。ただ、昨今のいじめは私たちの時代とは形態が変わったように感じます。電子機器を使用した目に見えないいじめが増加しており、学校も察知することが難しいように思われます。



しかし、今も昔も言えることは、子供たちのシグナルを察知して、家庭で支えたり、地域の方々が見守ったりすることが必要です。

今年度末にいじめ問題についての意見交流会を予定しています。次世代を担う子供たちのためにも私たち大人が支えていく社会の実現にこれからも寄与していきたいと考えています。

家庭教育委員会

委員長 小堀さかえ

子育ての原点は家庭にあることを再確認し、基本的生活習慣や親子のあり方についての情報交換、また今日の課題であるいじめや情報モラルの問題を取り上げ、「今どきの子どもたちのネット・ケータイ（子どもたちの多様な機器の利用と課題）」という演題で研修を行いました。

子どもたちの実態を把握するとともに、家庭でのコミュニケーションが情報モラルの向上に大切な要素であると理解することができました。

今後はホームページ等により活用し、より多くの会員の皆様に充実した情報を提供出来るようにしていきたいと思



育英でイチから始めよう。

1番を目指すなら育英へ。 IKUEI-1UP!

1目標校をつランクアップ。 IKUEI-1UP!

1得意な教科を増やす。 IKUEI-1UP!

英知・徳・自立を育む

金沢育英センター

お申し込み・お問い合わせ 金沢育英センター 検索

0120-115557

志の差が、実力の差になる。

東セミグループ INSTITUTE FOR DEVELOPING POTENTIAL

長所を伸ばして、やる気を引き出す。 小中高全学年対象 進学塾

無料体験授業受付中

お申し込みは WEB もしくはお電話で

www.tohsemi.com 検索

0120-15-8637

研究指定から学ぶ

中海小学校教育友会

研究主題

「地域みんなでハッピースマイル運動！中海」

特色ある活動

児童の元気を挨拶が地域全体に広がり、中海地区みんなが『ハッピースマイル』で過ごすことができたならこんな素晴らしいことはないという思いで活動をスタートしました。

1のぼり旗・横断幕の作成

児童がのぼり旗を、実行委員会が横断幕を作成し、地域のみならずが学校に集まる運動会などの機会に、元気な挨拶をアピールしました。

2地域を巻き込んだ挨拶運動

公民館、消防団、JA中海支店などの協力を得て朝の挨拶運動を行ったところ、11月1日の朝はカブツキも来てくれました。この日の活動は、『グッドマナー小松』の一環としてテレビ小松で放映され、広報『こまつ』にも紹介されました。



3ハグばわー通信

育友会の学級委員会が毎年発行している『ハグばわー通信』で挨拶特集を組みました。そこに紹介された児童の感想文の一節「あいさつには、心を通わすまほうの力があるんだよ。」を読んだ時、この活動を続けてきて本当に良かったと胸が熱くなりました。

北星中学校PTA

研究主題

「PTAと地域の連携
子ども達を守るために」

特色ある活動

本校は、全校生徒の大部分が自転車通学生であるため、PTAでは「よりよい街頭指導の在り方」を考えました。

1街頭指導方法の見直し

アンケートの声をもとに、各地区の指導方法の統一・実施場所の見直し・スタッフジャンパーの作成等を行いました。

2「地域ボランティアとの意見交換会」の開催

見守り隊など地域ボランティアの方々から、毎朝小中学生に接していると感じていること、学校や保護者に対する要望などを聞かせていただきました。



皆さんの「子ども達を守りたい」「地域の役に立ちたい」という思いが伝わり、また学校と地域社会のお互いの「顔の見える関係づくり」の第一歩となった非常によい機会でした。



会合では、防犯意識向上のため、昨年県内の小学校の運動会で起きた事件にも触れ、短時間護身術講座を開催しました。

紫錦台中学校PTA

研究主題

こどもの安全
「健やかな成長を願って」

特色ある活動

1緊急メールの活用
一斉メール配信システムを導入しました。導入後間もなく大型台風が接近し、緊急時の即効性を確認することができました。

2防犯について

金沢中警察署の署員を講師に招いての防犯教室では、不審者に遭遇した際の具体的な対処法を学ぶことができました。夏季休業中の校區パトロールでは、防犯に重点を置き、ジャンパーを統一することで巡回を強くアピールすることにしました。



3地域との連携

子どもたちが小学校へ出向いての交流、一人暮らしの高齢者宅や近隣への清掃などのボランティア活動、公民館の行事への参加や支援などを行いました。



学校、保護者、地域、関係機関が連携し、関わりを深めていく中で安全な社会が構築されます。研究を通して、校区内のコミュニケーションの大切さを、再確認できました。



余喜小学校PTA

研究主題

「子供たちと共に学び、たくましい『余喜っ子』を育てよう。」

特色ある活動

1学び合うPTA
総務委員会では、PTAの各委員会代表が活動内容や子どもたちへの思いを伝える「余喜フォーラム」を行いました。



子どもたちからは「PTAの方々が私たちを支えてくれていることに感謝したいです。」などの感想が聞かれ、子どもや保護者がPTAの活動に関心を持ち理解する良い機会となりました。

2学校メールの活用

生活委員会では、本年度より会員に学校メールへの登録を呼びかけ、不審者情報の配信を行いました。アンケート調査では、登録している保護者全てから肯定的な意見が出されました。

3地域との連携

余喜地区では、学校、保育所、PTA、地域並びに公民館が連携しふれあい祭りを開催しています。「あふれるほどの笑顔の花をさかせよう」のテーマ通り余喜地区全体を地域の方々と一緒に盛り上げ、連携を深めることができました。



再確認できました。

西部小学校PTA

研究主題

心豊かに逞しく生きる
西部っ子を育てるPTA活動

特色ある活動

1親子塩づくり体験
校区には、日本最古の揚げ浜式塩田が継承されています。その伝統を27年前より親子で体験しています。か



い桶で汲んできた海水を、おちよけを使って砂浜に撒き、天日で乾かし、砂を集め濃い灌水を作ります。集めた灌水を大鍋で一晩かけて煮詰め、水分を飛ばして天然塩を作り上げるのです。ふるさとの自然の豊かさを実感できる親子体験活動です。

2ふるさと合宿

2泊3日の通学合宿。子どもたちを多くの方と交流させ、なまめの関係づくりを体験させることが目的でした。「塩づくり体験」「防災教育」の2本を主な活動とし、地域の7団体の協力を得、実施しました。延べ121名の方々が参加して下さいました。



西部小学校PTAが目指す、家庭・学校・地域・子どもたちが共に学び合うPTAのCの特徴的な活動となりました。

再確認できました。

課題別研究指定

野々市市PTA連合会

情報モラル教育
おもな取り組み

1プロジェクトK

野々市市では10年来、市内の各関係団体と共に「プロジェクトK運動（携帯電話を持たせない運動）」を実践しています。ネット環境の変化に応じてPTA会員が最新情報を学習し、ネット犯罪等の防止や対応策について情報共有を図ってきました。

2実態調査の実施

野々市市PTA連合会では市内約4千名の全児童生徒、保護者に「各種情報端末所有・管理に関するアンケート」を平成25年度より実施しています。

その結果、以下の傾向が顕著に見られました。

- ・ゲーム機に伴うユーザーの低年齢化
- ・SNS等ネット環境の拡大

3講演会の開催

会員に一層の注意を促すため、講演会を開催しました。「ぐんま・子どもセーフネット活動委員会」より飯塚氏、工藤氏をお招きし「ネット社会との付き合い方」というテーマで講演いただきました。「子ども達への浸透スピードの速さに比べ、知らないのは親だけ」との声も聞かれました。



再確認できました。

無料体験学習・春の特別教室 同時募集中！

国語の読解力は、算数の文章題を解く応用力につながります。算数・国語の同時学習で確かな学力を身につけよう！

子育てと仕事の両立可能！
子育て中のママ、元教師・講師の方、先生として活躍中。あなたもお住いの校区で学研教室を開室しませんか？

お問合せ・お申込みは・・・
TEL 0120-114-154(受講)
TEL 0120-889-100(指導者説明会)

読む力・考える力——伸びる学力
学研教室
幼児/算数・数学・国語/英語



ご都合に合わせて説明会をします。

この広報紙に広告を掲載する会社・企業を募集しています。

- 配布先 石川県内302の小中学校の保護者と教職員
- 発行部数 約9万部
- 年間発行回数 2回
- 発行所 石川県PTA連合会
- 広告料 1区画5万円

広告掲載を希望される方は、下記へご連絡ください。

募集します！

石川県PTA連合会事務局 ☎ 076-261-3887

発行日：平成27年2月20日

発行所：金沢市尾山町10-5 石川県文教会館内 石川県PTA連合会

電話：(076) 261-3887

261-3887

発行所：北川 和也

印刷：(株)山越

受賞を心よりお祝いたします

- ◎文部科学大臣表彰
能美市立寺井小学校PTA 白山市立鶴来中学校PTA
- ◎公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰
加賀市立動橋小学校PTA 内灘町立大根布小学校PTA
- ◎公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰
大島 淳光 県P連前会長(金沢市) 細川ふじみ 県P連前副会長(金沢市)
岡田 政行 県P連前副会長(志賀町) 大根 清美 県P連前副会長(七尾市)
- ◎東海北陸ブロックPTA協議会会長表彰
大島 淳光 県P連前会長(金沢市) 細川ふじみ 県P連前副会長(金沢市)
- ◎いしかわ教育功勞者表彰「優良PTA石川県教育委員会表彰」(12団体)
加賀市立動橋小学校PTA 金沢市立森本小学校校育友会 羽咋市立余喜小学校PTA
小松市立矢田野小学校校育誠会 金沢市立紫錦台中学校PTA 七尾市立和倉小学校PTA
能美市立寺井中学校PTA 内灘町立大根布小学校PTA 輪島市立南志見小学校PTA
白山市立北星中学校PTA かほく市立宇ノ気中学校PTA 珠洲市立西部小学校PTA
- ◎石川県PTA連合会会長表彰 (19団体)
加賀市立片山津中学校PTA 金沢市立朝日小学校校育友会 中能登町立越路小学校PTA
小松市立国府小学校校育友会 金沢市立米泉小学校校育友会 七尾市立御祇中学校PTA
小松市立御幸中学校PTA 金沢市立西小学校校育友会 能登町立宇出津小学校PTA
白山市立蕨城小学校PTA 金沢市立港中学校PTA 輪島市立大屋小学校校育友会
野々市市立菅原小学校PTA 津幡町立中条小学校PTA 珠洲市立三崎中学校校育友会
金沢市立長田町小学校校育友会 宝達志水町立押水第一小学校PTA
金沢市立金石町小学校校育友会 志賀町立加茂小学校PTA
- ◎石川県PTA連合会会長表彰 (33名)
加賀市 池端 要 (加賀市P連) 金沢市 筆 百合 (紫錦台中) 橋場 律子 (西南部中) 山 祐美子 (港中)
小松市 田中 堂子 (芦城中) 内灘町 長野 敏幸 (内灘中) 津幡町 寺岡 克広 (津幡南中) 小松市 小島 美穂 (丸中) かほく市 宮坂 泰 (かほく市P連) 能美市 村元 博明 (福岡小) 酒井 貞之 (河北台中) 金谷 健児 (宮竹小) 宝達志水町 橋 隆幸 (押水第一小) 白山市 松枝 雅子 (鶴来中) 志賀町 三原 久樹 (下甘田小) 羽咋市 山崎 務 (北星中) 河島 功 (邑知小) 野々市市 宮村 正人 (鳥越中) 中能登町 谷内 優 (鹿西小) 七尾市 大根 清美 (能登香島中) 穴水町 永島志寿江 (田鶴浜中) 久保寿美江 (穴水小) 輪島市 坂口 高雅 (東陽中) 高橋 雅美 (三谷小) 岡村好志美 (正院小) 野々市市 吉田 雅明 (布水中) 松野恵利香 (中村町小) 伊東 詔子 (十一屋小) 磯 雅美 (三谷小) 野々市市 野々市善亮 (泉小)

いきいき子育て

三味線に打ち込んで 三味線奏者 永村幸治

三味線の道に進むきっかけをつくってくれたのは父です。民謡をやっていた父は、時々発表会に連れて行ってくれました。小学4年生の時、三味線奏者のはかま姿に憧れて、三味線を習い始めました。でもそんなに熱心に稽古に励んだわけではありません。



中学2年生の時だったと思います。津軽三味線の演奏を聞く機会がありました。迫力のある音色と、哀愁を帯びた調べに引き込まれてしまいました。父に頼んで津軽三味線の教室に通い始めました。私がいじめにたい、登校できなくなっていたのはそんな頃です。両親からは登校しないことを責められました。友達に会わないように、登校時間をずらして学校へ行くようにしました。でもそのうちに、全く登校できなくなりました。

家はいる間、ひたすら三味線を弾きました。三味線を弾いている間は、学校へ行けないさみしさも、いじめのつらさも忘れることができました。食事の時間と寝る時間と、そして中学生が登校する時間を除いて、朝から晩まで三味線を弾いていました。上達していくのが自分でも分かりました。仕事から帰ってきた父が「どうだ幸治、三味線うまくなったか」と聞きま

す。弾いてみせると、「おお、ずいぶん上達したな」と褒めてくれました。中学2年の秋、腕試しのつもりで青森の全国大会に出場しました。全国のレベルは想像以上に高く、力のなさを思い知りました。一層熱心に三味線に打ち込みました。そして半年後に開かれた東京での全国大会に再度挑戦しました。でも入賞などは夢

だと思っていまして、成績発表の前に帰ってきてしまいました。後日家に送られてきた表彰状を見て、敢闘賞を受賞したことを知ったわけです。奇跡が起きたと思いましたが、その時のことを振り返って母が語ってくれました。「ああ、この子に自信が持てるものが一つできた。明るい光が射したようだった」と。朝から晩まで三味線を弾いている私を、不安と期待が入り混じった複雑な思いで見守ってくれていたのです。

私は今三味線奏者として全国に知られるようになりました。振り返って思うに、あの時の「学校へ行かなくていいよ」という母の一言が、三味線奏者・永村幸治を作ってくれたように思います。人生何が転機になるか分からないものです。

◆正式な大会名は「第71回日本PTA東海北陸ブロック研究大会石川県・小松大会」という長い名前です。略して「東陸小松大会」と呼んでいます。◆期日は10月9日(金)が分科会、10月10日(土)は全体会です。◆分科会場は小松市内6会場で、全体会は「こまつドーム」で行います。◆参加規模ですが、東陸全体で2千5百名。そのうち石川県内の参加者は1千5百名を予定しています。東陸各県とは、富山、福井、岐阜、愛知、三重、名古屋、そして石川県の1市6県です。◆研究主題を「子どもたちの未来を地域とともに「智・仁・勇」の心から始まる未来への物語」と設定しました。◆発表PTAがすでに決定し、着実に実践を積んできています。

東陸小松大会の成功に向けて

◆風化させないで！
あの日から4度目の3月11日が巡ってくる。石川県では「風化させないで」という心の叫びを忘れず、今年も「絵灯籠大作戦」を展開している。子ども達や会員の描いた灯籠の絵が事務局に届いている。配布した用紙の枚数から推測すると、8百枚近い絵が届くはずだ。3月8日(日)、宮城県名取市関上の追悼イベントで展示される。被災地で復興に取り組み人々に、希望と元気が届くことを願っている。

県P連のほれ話

◆県P連のほれ話
日本PTAが進める「心のきずな61教育支援基金」に協力してくれる人も絶えない。1月末の時点で、40万円を超える募金が寄せられた。協力してくださった方々に、心から感謝申し上げたい。使途については、日本PTAのホームページをご覧ください。

編集後記

▼県PTA大会の記念講演は辻井いつ子氏だった。紙面の関係でほんの一部しか紹介できなかったが、それでも辻井さんの苦悩や喜びが伝わってくる。障害のある子の母親として、希望を持って前向きに生きる姿から、勇気をももらった人も多かったに違いない。

▼シリーズ記事の「いきいき子育て」に、今号では三味線奏者の永村幸治氏に登場願った。1時間にわたり、ご本人とお母様からお話をお聞きしました。いじめ・不登校というつらい体験を、保護者の立場でどう受け止めていたのか。筆者の筆力では十分お伝えできなかったかもしれない。どうか読者の想像力で補ってお読みいただければ幸いです。

Communication company
「快」を考える「人」になる。
私たちが山越グループは、時代と共に最適な情報メディアサービスを提供し、お客様、地域、そして社員にとって「快適」な情報環境を支援する企業であり続けたいと考えます。

株式会社 山越
印刷物企画・制作/文具・事務用品・事務機器販売/WEB企画・制作
本社 〒920-0001 石川県金沢市千木町ル70番1 TEL:076-257-9101(代表)
東京支社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目12番18号 TEL:03-5413-7778(代表)

そろばんパチパチ、はじめよう!
楽しいよ! 見学に来てね

そろばんで 広がる未来 育つ知恵
前田利家が陣中や城下で、そろばんを使い計画を練っていた頃から400年。「計算道具」から「算数教具」へと変化しつつも
現在も活躍を続けるそろばん!

お問い合わせ
全国珠算教育連盟 石川県支部
☎ 076-252-8881
全珠連 石川県支部 検索

公益社団法人 全国珠算教育連盟